

RED HAT MOBILE APPLICATION PLATFORM

ニーズの変化に俊敏に対応するエンタープライズ・モビリティを実現

DATASHEET

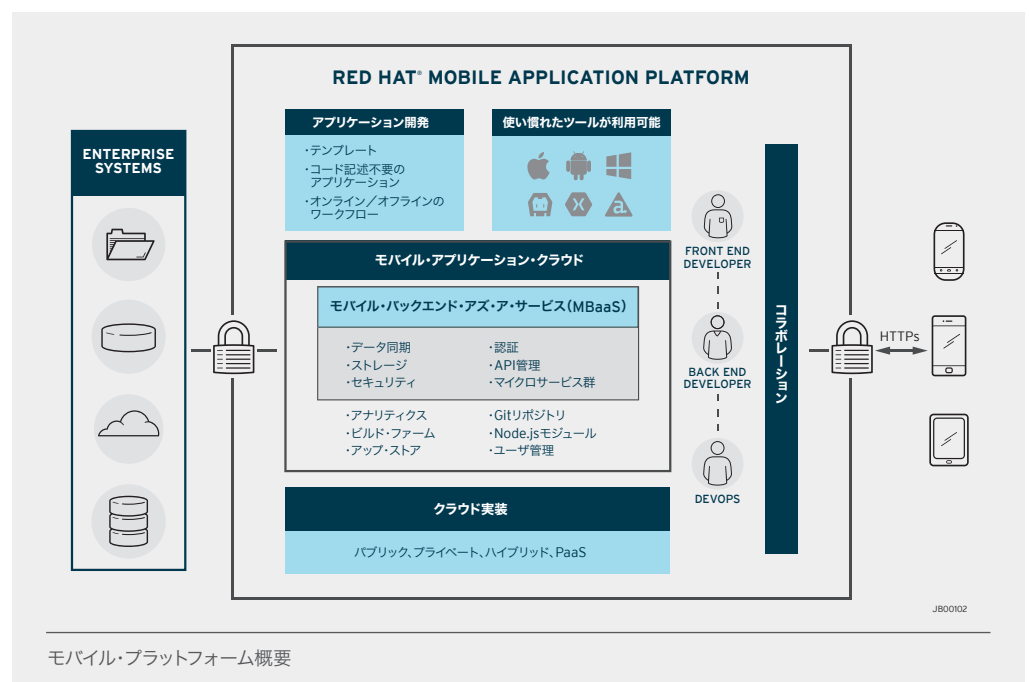
メリット

- ・ビジネスの現場に、イノベーションと競争力を提供
- ・IT 環境のセキュリティと一貫性の集中管理を実現
- ・アジャイルかつ柔軟な開発環境を実現
- ・アジャイルで継続性を備えたサービスデリバリーを DevOps に提供
- ・ビジネスと開発者に迅速なプロトタイプングを提供

概要

エンタープライズ・モバイル環境のイノベーションと敏捷性を集中管理できるようにするのが、Red Hat® Mobile Application Platform です。FeedHenry 3として提供されていたこの製品は、コラボレーション・アプリケーション開発、セキュリティの集中管理とバックエンド統合、そして広範囲なクラウド実装を包括的に提供します。

エンタープライズのモバイル・アプリケーション開発者や DevOps チームは、デベロッパー・コンポーネントへのセキュアなアクセスを可能にし、複数の部門や部署にまたがるモバイル・プロジェクトで利用/再利用ができるツールキットを選べるようになります。モバイル・アプリケーション開発チームは円滑なコラボレーションと情報の共有、検証やその繰り返しを速やかに行え、生産性の最大化、コストとリスクの最小化、迅速かつセキュアな拡張を可能にする製品を、意図していた期日にサービスを提供できるようになります。



モバイル・プラットフォーム概要

特長

Red Hat Mobile Application Platform include には以下のような特長があります：

1. コラボレーションとモバイル・アプリケーション・ライフサイクル管理

特長	利点
チームとロールをベースにしたコラボレーション	UI/UX デザイン、フロントエンド・コーディング、バックエンド・サービス開発、システム管理、そして DevOps など様々な異なったスキルを持ったインハウスとアウトソースで構成された開発チームのメンバーが、各々の開発スピードを阻害することなく、共同で複数のアプリケーション開発プロジェクトを進行することが可能になります。

主な特長

- ・ Node.js をベースにした、オープンで拡張性を備えたアーキテクチャ
- ・ エンタープライズ・クラスのモバイル・バックエンド・アズ・ア・サービス (MBaaS)
- ・ 業界標準に則った開発ツールとフレームワーク
- ・ チームやコラボレーションに適した機能を提供
- ・ モバイル・アプリケーションのライフサイクル管理
- ・ コード記述不要の、ドラッグ&ドロップによるアプリケーション開発
- ・ テンプレートとカスタマイズ可能なソリューション
- ・ アプリケーション管理とレポート機能
- ・ パブリック、ハイブリッド、プライベートの各クラウドへ実装可能

特長

利点

アクセス・コントロール	各モバイル・アプリケーション開発プロジェクトのあらゆるレベルにおいて詳細なコントロールを構成でき、主要なプロジェクトや製品コンポーネントのセキュリティを確保できます。これにより、異なったレベルのロックダウン機能をプラットフォーム内に持たせることができます。また API 駆動型やマイクロサービス開発のアプローチも可能になり、共有と再利用が容易になります。
モバイル・アプリケーションのライフサイクル管理 (Mobile ALM)	市場ニーズに合わせたモバイル・アプリケーション提供は、複数の再帰的なアプリケーション・リリースに追われる DevOps チームにとって大きなプレッシャーとなります。Mobile ALM は、開発コラボレーションにアクセス・コントロールを持たせながら複数のプロジェクト環境の構成と管理を可能 (開発、検証、ベータリリース、リリース等) にします。
デベロッパー・ワークフロー	プロジェクト内のあらゆるアプリケーションやクラウド・バックエンドの各々にその Git リポジトリと整備されたワークフローを持たせることは重要です。Git はソースコードのバージョン管理を実現し、そのコラボレーション機能で複数の開発者が同じコードで並行して作業できるようにします。

2. 使い慣れたツールを利用可能

特長

利点

オープンで柔軟性を備えたツールキット	ハイブリッドやネイティブのモバイル・アプリケーション開発において、開発者は自らが使い慣れた IDE 等の開発環境を利用できます。ネイティブの SDK (iOS、Android、Windows Phone)、Apache Cordova、HTML5 と Appcelerator、Xamarin、Sencha、Ionic、Backbone.js、Angular.js、Ember.js、そして JBoss Developer Studio をサポートしています。
アプリケーションの移行	既存のモバイル・アプリケーションもマイグレーションして集中管理可能です。ネイティブ、HTML5、ハイブリッドのアプリケーションに関係なくコードを維持し、認証情報や証明書を集中的に管理/更新できるので、チーム間での移行も容易になります。
オンライン/オフラインのワークフロー	開発者は自らの環境でローカルに、もしくは用意されたスタジオ環境からもコラボレーションや MBaaS 機能、再利用可能なコード、テンプレート、各 API、共有サービス等の全ての機能にアクセスできます。
マルチデバイス・ビルド	Build Farm サービスは、iOS、Android、そして Windows Phone に対応したネイティブ/ハイブリッドのアプリケーションのビルドをサポートしており、ビルドとシグニチャを生成できます。これにより、新規にアプリケーションをビルドする際、特定のデバイスのハードウェアやソフトウェア環境を用意する必要がなくなります。

3. バックエンド統合と API 管理

特長	利点
モバイル・バックエンド・アズ・サービス (MBaaS)	オープンなテクノロジーと Node.js をベースにした MBaaS 機能は、クラウドベースのハイパフォーマンスな軽量フレームワークを提供し、開発者がモバイル・アプリケーションをセキュアにバックエンド・システムへ統合できるようにします。MBaaS はデバイスとバックエンド・システム間のデータ・ストレージ、拡張機能、通知機能、アナリティクス機能等、エンタープライズ・クラスのモバイル・アプリケーション環境における重要なあらゆる管理機能を提供します。Salesforce、Sharepoint そして Oracle など、主要なバックエンド・システムに対応したモジュールがあらかじめ用意されています。
マイクロサービスと API	マイクロサービスと RESTful API によって緩やかな連携を実現しているアーキテクチャは複数の開発チームによる複数のモバイル・プロジェクトで再利用可能で、複雑なバックエンド接続の再開発を排除することができます。開発者は Node.js 内でマイクロサービスとバックエンド API を開発し、複数のプロジェクトで共有できます。
Node.js モジュール	開発者はこれらのモジュールを用い、Node.js 内にバックエンド・サービスを開発できます。 また、開発者は Node.js コミュニティを通じ、モジュールのスニペットを用いて新たなマイクロサービスを用意することも可能です。
データ同期	データ同期フレームワークを利用すれば、オフライン時の機能をモバイル・ソリューションに提供できます。複数のクライアント・アプリケーションとバックエンドのデータストアの間での双方向でのデータ同期機構と、更新が複数あった場合の調整/管理機能を提供します。

4. セキュリティと認証

特長	利点
暗号化	アプリケーションから MBaaS への HTTPS 通信に加え、ローカルにキャッシュされたデータを AES/RSA API を用い、オプションで暗号化してデバイス上でのセキュリティを確保できます。各アプリケーションに API キーを付加し、有効化には通話を必須とすることもできます。認証 API 群は、セッション管理を備えた認証機構の実装を容易にします。
バックエンド・システムへのアクセスを保護	組織のセキュリティ・ポリシーに則り、MBaaS からバックエンド・システムへのアクセスのセキュリティを確保できます。これには、IP アドバイスによるフィルタリング、サイト間での VPN 接続、強力なファイア・ウォール、DMZ、許可されたデータセンターやそのロケーションなどが含まれます。
ユーザ認証と承認	ユーザの認証情報や LDAP/Active Directory システムを利用して、ユーザのセキュリティと認証を管理可能です。サードパーティ・サービスのための、OAuth 認証の統合も可能です。ベンダー独自の SSO も実装可能です。

5. コード記述不要の開発

特長	利点
ドラッグ & ドロップによるフォーム作成とプロトタイピング	紙ベースの処理をモバイル対応したフォームに変えることで、迅速に多くの結果を得ることができます。ドラッグ&ドロップ式のフォーム・ビルダーを使い、コード記述無しで、速やかにアプリケーションを構築可能です。また、これらコード記述不要のアプリケーションは、フォームを利用して既存アプリケーションを拡張する際のプロトタイピングにも最適です。
テンプレート	容易にモバイル・アプリケーション・プロジェクトを開始できます。クラウドを最大限に活かしたモバイル・アプリケーションの構築とバックエンド統合を実現するサンプルとアプリケーションのテンプレートが用意されています。

6. クラウド実装

特長	利点
クラウド・アーキテクチャ	Red Hat Mobile Application Platform は様々なクラウド環境に実装可能なクラウド・アグノスティック・アーキテクチャを採用しており、エンタープライズのあらゆるニーズに応えることができます。この中には以下が含まれています： <ul style="list-style-type: none"> ・ AWS、Rackspace、HP Cloud、そして IBM Softlayer などのパブリック・マルチテナント ・ プライベート・クラウドやマネージド・クラウド ・ アプリケーション・クラウド・コード（専用の MBaaS）を他のクラウド環境に置くハイブリッド環境



facebook.com/RedhatJapan
twitter.com/RedHatJapan

レッドハット株式会社

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 4-1-18 恵比寿ネオナート
TEL : 03-5798-8500 (代表)
http://www.jp.redhat.com

製品・サービスについてのお問い合わせ

セールスオペレーションセンター (SOC)
TEL : 0120-266-086 受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)
携帯電話からは 03-5798-8510
E-mail : sales-jp@redhat.com